

橿地域自治区の概要【平成 30 年度】

1 地域の紹介

橿地区は、宮崎市の東部に位置しており、南は宮崎港のある大淀川左岸から、北は市民の森のある山崎町に至る南北に長い地区です。

一ツ葉海岸等、豊かな自然や歴史があるほか、リゾート施設や商業施設も充実したまちです。しかし一方で、自然保護や文化の継承、未来を担う人材育成等の課題を抱え、人口4万人を越える地域住民の連携や絆を強化し、災害時の備えも行っていかなければなりません。

2 人口及び高齢化率（H30. 4. 1現在 住民基本台帳人口）

- ・地域内人口： 42,098人（対昨年比 +290人）
- ・男女別内訳： 男 19,926人（対昨年比 +161人）
女 22,272人（対昨年比 +129人）
- ・年齢別人口： 0歳～14歳： 6,225人
15歳～64歳： 25,943人
65歳以上： 9,930人
- ・高齢化率 23.6%（市全体 26.8%）

3 世帯数（H30. 4. 1現在 住民基本台帳世帯）

20,749世帯（対昨年比 +317世帯）

4 面積

17.15km²（市全体 644.61km² 対市比2.7%）

5 産業大分類別従業員数（H27年国勢調査）

第1次産業	465人（2.5%）
第2次産業	2,610人（13.8%）
第3次産業	15,792人（83.7%）
合計	18,867人

6 主要事業

市関係

- ①東部第二土地区画整理事業（区画整理課）
- ②吉村通線整備事業（市街地整備課）
- ③宮崎駅東通線整備事業（市街地整備課）
- ④昭和通線（小戸之橋架替え）整備事業（市街地整備課）
- ⑤準用河川産母川河川改修事業（土木課）
- ⑥ホテルの里づくり事業（環境保全課）
- ⑦海岸松林保全自主管理支援事業（森林水産課）

7 地域自治区の公共施設等

（1）教育

幼稚園：みくに（吉村）、みどり（昭和）、宮崎（高洲）、明星（吉村）

小 学 校：櫛北小、櫛小、宮崎港小、潮見小
中 学 校：櫛中、宮崎中
公立公民館：中央公民館、櫛公民館、宮崎地区交流センター

(2) 福 祉

保育園：櫛、浮ノ城ひまわり、曾師、吉村、あおば（以下吉村）、一ツ葉（新別府）、山崎(山崎)
どろんこ（阿波岐原）、潮見（中西）、昭和（昭和）、田代（田代）
児童館：櫛児童センター、宮崎地区交流センター
その他：市保健所、小児診療所、総合発達支援センター、夜間急病センター
櫛北地区地域包括支援センター、櫛南地区地域包括支援センター

(3) 公共施設

公 園：文化の森、市民の森、後田川緑道、阿波岐原森林公園、みやざき臨海公園
国際海浜エントランスプラザ
その他：市総合体育館、フローランテ宮崎、東部市民サービスコーナー、下水道宮崎処理場
中央卸売市場、科学技術館、消防東分署

(4) 警 察

駐在所：一の宮交番・阿波岐原交番

8 地域の魅力について（特産品、文化財、観光スポット、偉人（有名人）、神話など）

(1) 特産品

農産品：米、きゅうり、ピーマン、マンゴー
花 卉：胡蝶蘭、バラ
海産物：ちりめん

(2) 文化財・観光スポット

櫛古墳群＜新別府町、江田原、山崎地区＞

櫛中学校の南側、新別府川に接するところにある前方後円墳「櫛一号古墳」を始め、4世紀から6世紀頃の古墳が点在しています。また、山崎下原地区の古墳周辺では、県道整備に伴う調査により、滅失古墳や土抗墓、馬埋葬土抗が確認されました。滅失古墳からは鏡や太刀、馬埋葬土抗からは馬具等が出土しています（山崎下ノ原第一遺跡）。

正光寺観音堂（網掛観音）＜吉村町正光寺前地区＞

本尊は十一面観音で、漁夫が海中から光輝く観音菩薩を引き上げたという由来から網掛観音と呼ばれています。

下別府一字一石経塚＜吉村町下別府地区＞

享保15年（1730年）に建立されたものです。

一字一石塔とは、経文を一字ずつ書写した小石を地に埋め、その上に石塔を建てたので、ここからは主に法華三部経を書写した68,000個余の経石が埋納擴から出土しました。当初は、吉村町南今村、県道島之内一の宮線の東にありましたが、県道改良工事に伴い、現在は一の宮交差点近くの浄土院に移築されています。

天林寺のオハツキイチョウ（県天然記念物）＜新別府町麓地区＞

葉の上に実をつける異常果で、葉の左右の外側中央部に2～3果、また一側のみにも1～3果、まれに葉の内側の葉脈上に1～2果つけることもあります。平成5年の台風で根元から折れて現在再生を図っているところ です。

江田神社<阿波岐原地区>

祭神はイザナギノミコト、イザナミノミコトで、『延喜式神名帳』には、「宮崎郡一座江田神社」とあり、日向式内四社の一つに位置づけられています。

一ツ葉稲荷神社<新別府地区>

『江田住吉縁起』によれば、貞享年間（1684～1688年）までは「一ツ葉の松頭現（一葉稲荷）」と称されていました。祭神に五穀豊穰の神とされるウカノミタマノミコトを祀り、毎年春の例大祭には神楽が奉納されています。

軍用道路<阿波岐原地区>

市道松林中道は、通称「軍用道路」とよばれていました。『檣郷土史』によると、昭和10年（1935年）陸軍大演習が宮崎地方で実施されるに当たり軍が兵員、軍需物資の輸送専用道路として整備したとのことですが、リゾート開発に伴いその殆どが無くなりました。現在では、宮崎県教育研修センターの北側の一部が残されているのみです。

市民の森公園<山崎地区>

5月に、20種類約20万本のはなしょうぶが咲きます。

みやざき臨海公園<新別府地区>

サンマリーナ宮崎、サンビーチ一ツ葉南ビーチ、北ビーチからなる公園。夏の海水浴や、最近では音楽フェス等が開催されます。

フローランテ宮崎<山崎地区>

四季折々に花と緑のある生活を楽しむことができる公園。

国際海浜エントランスプラザ<山崎地区>

花と緑で彩られた芝生公園や英国式庭園等、国際リゾート地にふさわしい公園。

後田川緑道公園<堀川町、昭和町から10地区にまたがる公園>

家庭排水、汚水等で汚濁が激しく悪臭が漂っていたことから、昭和50年から5ヶ年計画で後田川を暗渠化し、市民の憩いの公園として整備されました。

山崎ホテルピア<山崎地区>

地元の方々が、平成9年ホテルを呼び戻し、江田川の小川と池を再生するため山崎エコアップを結成。毎年ホテル鑑賞会を開催しています。

宮崎中央公園（文化の森）<宮脇町>

市の中心部に位置する公園。桜が植樹されており、開花時期には花見の見物客で賑わいます。

（3）偉人（有名人）

興梠 慎三 サッカー選手。2008年から2011年まで元日本代表。
阿波岐原町に実家あり。

小淵 健太郎 アーティスト。グループ名「コブクロ」 日ノ出町出身。

（4）神話

古事記にある伊邪那岐命いざなぎのみことが「筑紫の橘ちくしの小戸たちばなの阿波岐原おどにおける禊祓あわぎがはら」をされた伝承の地と

して、代々今日に至るまで全国の神社における禊祓はらいことば詞として神前に奏上されている、歴史的に伝統のある土地です。

阿波岐原町の江田神社は、伊邪那岐命いざなぎのみこと・伊邪那美命いざなみのみことの二神を祀る神社で、最近ではパワースポットとして、全国から観光客が訪れます。

9 地域自治区内の自治会・班数・世帯数（H30. 6月現在）

	自治会名	班数	世帯数	自主防		自治会名	班数	世帯数	自主防		自治会名	班数	世帯数	自主防
1	出来島町	50	215	○	19	稗原町	3	29	○	37	鳥居原団地	16	111	
2	高洲町	45	291	○	20	寺ノ下	20	239	○	38	吉村浮之城	19	225	○
3	高洲二区	1	13	○	21	吉村町北中地区	15	135	○	39	浮城町	10	66	○
4	潮見町	45	380	○	22	西中	42	247	○	40	えだばる	27	256	○
5	中西	42	285	○	23	大町	35	316	○	41	新櫨	3	34	○
6	小戸町	7	82	○	24	大町前団地	5	45		42	新別府	15	207	○
7	小戸町二区	12	120	○	25	宮脇町鉄道	3	32	○	43	新別府西	15	88	○
8	田代町	40	255		26	芙蓉	8	98		44	一ツ葉美松	5	61	
9	大王	16	153	○	27	平塚	7	81	○	45	阿波岐原町	12	231	○
10	曾師	23	155		28	平塚東	15	155	○	46	阿波岐原町前浜	22	238	○
11	曾師北	20	210	○	29	平塚西	4	35		47	山崎	16	72	○
12	昭和	33	330		30	平塚団地	2	18	○	48	朝日ヶ丘団地	4	36	
13	一の宮	19	176	○	31	引土	44	225	○	49	南窪	11	95	○
14	一の宮町南	8	43		32	東引土	30	250		50	南窪団地	9	52	
15	一の宮住宅	5	48	○	33	櫨団地	6	34		51	二ノ町の南窪	3	24	○
16	中原	17	177	○	34	青葉泉住	14	170		52	宮下	2	16	○
17	中原南団地	9	47	○	35	江田原団地	12	106		53	新浮城	1	8	
18	今村	15	148	○	36	鳥居原	3	18		54	グランドパル青葉	3	13	
												計	7,194	39

※櫨地域自治区の自治会加入率 40.3%（平成30年6月現在）

※自主防災隊結成率 72.2%